



2010. 3

20番目校 パーウドム村小学校引渡し式

—— 2010年CSAワーキングスタディツアーのメンバーと共に ——



新築の20番目校、パーウドム村小学校



CSAが建設した20番目校にあたるパーウドム村小学校が完成し、日本から、1月9日に出発した2010・CSAワーキングスタディツアーのメンバーも参加し、周辺の4村から約200名が集まり、1月13日に引渡し式が行われました。

パーウドム村はラオス北部のボケオ県の県庁所在地であるフェーサイから車で約3時間半、2000年に建設した10番目校のサイウドム村小学校から約30分に位置します。式典では郡長からCSA、連合への感謝が述べられ、民族衣装をまとった村の少女たちからメンバー全員に花束が手渡されました。



学校引渡し式で文具などを贈呈

長石事務局長より学校引渡し書が郡長に手渡された後、ツアー・メンバーからノート、鉛筆、サッカーボール、などが贈呈されました。新校舎の見学後、祈りと共に手首に糸を巻くパーシーというラオスの儀式が行われ、団員の健康、幸福が村人によって祈られ、感謝の気持ちが表されました。

村人との交流も持たれ、子供たちと団員との綱引き、食事、ラオスのダンスなどが催されました。この引渡し式を中心にCSAの小学校建設について、ラ



村人も子どもも綱引きに夢中

オスの日刊英字新聞「VIENTIANE TIMES」(2010.1.19)に、「日本による農村地域児童の教育への投資」と題した記事が大きく報道され、これまでのCSA活動の成果がラオス国内で評価されていることがうかがわれました。



ラオスの日刊英字新聞「Vientiane Times」がCSA活動を紹介



感謝の野の花の花束贈呈

小学校建設 21・22番目校の決定

2009年12月14日に開催した第156回常任理事会で、CSAがラオスに建設する小学校がつぎの村に決まりました。

2010年に建設する21番目校の候補地は、ピエンチャン市よりメコン川沿いを北西し、フェーリーポートでメコン川を渡りその支流沿いに位置する、サイニャブリー県パクライ地区ムアンワァー村です。ピエンチャン市内から約217kmで、所要時間は車で片道約6時間30分のところ。サイニャブリー県での小学校建設はCSAとしては初めてとなります。村民は1,707人(男性930人、女性777人)で農業を営んでいる人が大多数を占めています。児童生徒数193人(男子104人、女子89人)です。

また、22番目校・2011年建設予定地は、パクライ地区ムアンワァー村より西方より約8キロのところに位置している、サイニャブリー県パクライ地区ナマイ村とすることも確認されました。



ムアンワァー村の建設予定地



小学校建設の契約調印 — ラオス教育省にて

建設契約の調印

2010年3月5日、ラオス教育省においてCSA 21番目校ムアンワァー村小学校と22番目校ナマイ村小学校の建設契約が、ブンスック教育省官房長官、チャールン初等教育局長、センソムポン外務関係局長、CSAから長石事務局長、佐古ラオス現地代表、ならびに建設・コンサルタント等、関係者35名が出席のもとに行われました。調印式の模様はラオスのテレビ「ラオスター」、ピエンチャンタイムス(英文日刊紙)などに報道されました。

21番目校となるムアンワァー村小学校は、7月25日に引き渡し式を行う予定で直ちに建設工事に入りました。引き渡し後、22番目校ナマイ村小学校の工事に入り、本年末日までに建設される予定です。

ラオス・タイへ視察団を派遣 2010 CSAワーキングスタディーツアー

－ YouTubeでタイ訪問の映像紹介も －

2010年1月9～19日の日程で2010・CSAワーキングスタディーツアーが、ラオス・タイにおいて、皆様からの救援衣類の現状把握、寄贈建設した小学校の状況、高校の寮生の生活を視察し、カンパ金がどのように活用されているかの実態把握につとめました。このツアーは例年行っており上記の視察のほか、タイ・ラオス両国の文化や生活に触れて、お互いに理解を深め今後の支援につなげていくことを目的に行っている活動です。

ラオス － 救援衣類支援と教育支援

ラオスでは、労働省、教育省、保健省を訪問し、小学校の寄贈建設、サンティパーブ高校寮や救援衣類の配布先などについて意見交換をしました。今年は救援衣類はラオス南部の洪水被災者に充てられ、CSAからの支援がどの国よりも一番早かったことに各省の副大臣から感謝が述べられました。また日本大使館において宮下大使より直接、ラオス情勢のブリーフィングを受け、見聞を深めました。



パーウドム小学校引渡し式

学校建設については、ボケオ県とルアンパバン県に所在するCSAが建設寄贈した小学校や、サンティパーブ高校寮などを視察しました。今回は20番目校となったボケオ県のパーウドム小学校の引き渡し式を行い、村人や子どもたちと友好を深めました。

(詳細は20番目校の引渡しの記事をご一読ください。)



救援衣類をラオスの高校生寮に贈呈

「遠隔地高校生支援事業」を行っているルアンパバン市内のサンティパーブ高校寮にはラオス北部から貧困などのために通学できない高校生支援のために収容人数90名の寮を運営しています。毎年30名の優秀な生徒が入寮し、勉学に励み、進学しています。ラオス国内の大学のほか、ベトナム、中国などにも国費留学し、日本には既に4名留学しています。今回は寮生や先生と食事をつつ意見交換を行い、さらに歌や踊りで交流を深めました。



ラオス保健省・副大臣と共に



救援衣類の保管場所：ラオス保健省倉庫

タイのCSA訪問 - YouTubeにも載ったチェンマイ訪問

タイでは、チェンマイ、バンコクを訪問、チェンマイでは社会福祉開発省の貧困者向け支援施設を訪問し、昨年行われた「第26次中古衣類を送る運動」でタイに輸送された中古衣類の一部を直接恵まれない人々に手渡しました。また団員の組織から提供された鉛筆、ノートなどが子どもたちに直接手渡されました。

参加者の中には日本名の刺繍入の上着を着ている人もおり、救援衣類が活用されていることが見られました。

バンコクでは配布前に救援衣類が保管される福祉省の倉庫を訪問し、到着している荷物の中身をチェックし、衣類の仕分けに携わっている職員と意見交換を行い、「CSAからの衣類は清潔で助かる」、「恵まれない地域の人々が喜ぶのでやりがいがある」、といった意見を直接聴くことができました。



タイ山岳部族の子供たちに文具を手渡す



タイ福祉省倉庫に届いた衣類カートン

タイ社会福祉開発省制作のCSAワーキングスタディツアー紹介のYouTube映像は以下で見ることができます。

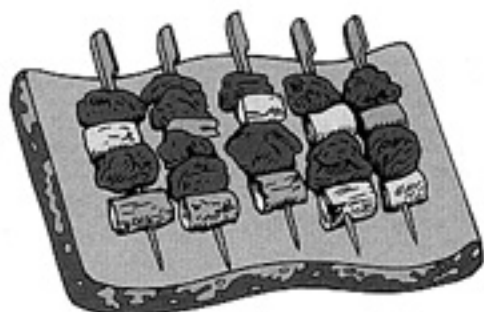
→ CSA Working Study Tour 2010

サンティパーブ高校卒業生

— 日本留学5名に! —

☆留学生、駒場寮・秋の文化祭で活躍

昨年の11月23日(月)、ラオス留学生のVienxai君とKhamchan君2名が入寮している東京の駒場国際交流会館で駒場寮祭が開催されました。世界各国からの寮生たちによる歌、踊り等や各国の文化が展示紹介されました。料理の屋台では、卒業生2人は焼き鳥や産地直送のラオスビール等を販売する屋台を手伝い、ステージでは昨年初めてピエンチャンで開催された第25回東南アジア競技会(SEAGAME)のテーマソングを他のラオス留学生と共に歌うなど、日本にとけ込んだ様子を見せました。



焼き鳥を懸命に作る留学生

☆CSA寮の卒業生が母校で講演

2010年3月7日、ラオス・サンティパーブ高校CSA寮の卒業生で、現在、佐世保工業高等専門学校で留学勉強中のイエン・ハー君(2期生)が寮生やら教師約65名に「日本での留学状況」等について約1時間、一時帰郷のうちにラオス・ルアンプラバンの母校で講演をしました。講演は、「CSA寮に入寮してから人生が大きく変わったこと、日本の生活水準の高さ、交通網の整備のすごさを実感していること、海(内陸のためラオスには海はない)、そして雪の自然現象にも驚いたこと。また、留学するには理科系(物理、算数、化学)を重点に勉強する方が良い」など留学のコツを含めユーモアを交えての内容で、寮生達も興味深く真剣に話を聞いていました。また、現在、日本に留学中のヌンソン君(1期生)、ピエンサイ君、カムチャン君(3期生)そしてイエン君の4名の卒業生から後輩にバトミントン2セットが贈呈されました。



後輩たちに講演をするイエン君

☆ 5番目の日本留学生決まる！

貧しさゆえに通学できない優秀な高校生を支援するCSAの支援事業は既に8年目を迎えました。今年のサンティパーブ卒業生は、ほぼ全員進学し、ラオス国内の大学のほか、ベトナム、中国、日本等にも国費留学をしている優秀な学生もいます。

現在、既に日本に留学中の4名のラオス留学生に加え、今年の4月に来日する5番目の留学生に決まったアーサ君を含む4名の卒業生と2010・CSAワーキングスタディー



ピエンチャンで勉学に励むサンティパーブ高校卒業生たちと共に

ツアー・メンバーはピエンチャンで意見交換の場を持ち、今後の抱負などについて語り合いました。

われわれの運動の輪が少しずつ広がっています。さらにこの輪が広がることを期待したいものです。

一般会計収支計算書 (2009.08.01~2010.01.30)

(単位：円)

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
運 営 費 計	6,351,921	会 費 収 入	300,000
事 業 費 計	13,746,578	連 合 愛 の カ ン バ 金	17,000,000
次 期 繰 越 金	19,322,188	輸 送 募 金	4,882,813
		学 校 建 設 募 金	230,927
		高 校 生 支 援 募 金	38,700
		WST参加者負担金	1,680,000
		雑 収 入	3,275
		保 証 金 戻 り 収 入	966,600
		繰 越 金 収 入	14,318,372
合 計	39,420,687	合 計	39,420,687

「第26次救援衣類を送る運動」、約200トンを集約

① 集荷期間 2009年10月5日(月)から9日(金)

② 集荷量 207トン(206.930Kg)

仕向地	発送量(Kg)	出港日	到着日
ラオス	65,200Kg.	10月13日	10月26日
タイ	141,730Kg.	10月20日	10月30日
総計	206,930Kg.		

ご支援に感謝申し上げます。



引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

輸送募金、学校建設募金、遠隔地高校生支援募金の振込先

ゆうちょ銀行:00140-7-545101 アジア連帯委員会

中央労金・田町支店 (普通)1988431

アジア連帯委員会 事務局長 長石春彦

《輸送募金個人明細表》

2009年8月1日～2010年1月31日

※内山みちよ様	※庵谷みち江様	※野上敬子様	※鈴木恵子様
※前原正子様	※楢山睦美様	※尾崎路子様	※尾崎好里様
※越智勝様	※石田節由美様	※齋藤由美子様	※三藤好本様
※麦倉千恵子様	※平真由かり様	※相田早苗様	※猪俣庸博様
※黒川かず江様	※増岡ゆかり様	※板谷明美子様	※近沢博紀様
※芝辻篤久様	※後藤雅鈴代江様	※後藤麻友子様	※宮悠紀様
※矢田凡子様	※井野原香のぶ様	※廣野山利勝子様	※清水さゆり様
※村岡悦子様	※杉浦しの恵様	※高田江身繁子様	※山口政牧子様
※廣瀬亜紀子様	※真中奈美恵子様	※青木玲規子様	※生井崎清悦子様
※原田隆代江子様	※北野恵信一様	※西山真繪敏祥子様	※熊山司小夜子様
※畑中喜恵子様	※池田伸野子様	※太田真繪敏祥子様	※浅野昌朝雄勝光美子様
※倉持恵香子様	※間々川伸野子様	※苅部真繪敏祥子様	※池田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※須藤のり子様	※武川政恵子様	※大嶋出野祥子様	※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※石村俊子様	※北村政恵子様	※井出野祥子様	※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※足立ほうりゅう様	※佐藤美道和陽美和薫子美保美也子美佐好薫光鶴福裕真奈恵一慎昌力正尚孔	※入野アイ津子様	※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※八樹春妙子様	※白川和陽美和薫子美保美也子美佐好薫光鶴福裕真奈恵一慎昌力正尚孔	※古谷加津子様	※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※田中慶幾敏美子様	※菅井方直久梅三明敵和本美好薫光鶴福裕真奈恵一慎昌力正尚孔	※和田雄和工智香和恵みら実孝亜大真陽千ク美千磯三知吉道敦明希育子	※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※草野慶幾敏美子様	※緒井方直久梅三明敵和本美好薫光鶴福裕真奈恵一慎昌力正尚孔	※川野雄和工智香和恵みら実孝亜大真陽千ク美千磯三知吉道敦明希育子	※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※齋藤敏美子様	※川口直久梅三明敵和本美好薫光鶴福裕真奈恵一慎昌力正尚孔	※福池入工智香和恵みら実孝亜大真陽千ク美千磯三知吉道敦明希育子	※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※小柏敏美子様	※森橋内頭成崎口本美好薫光鶴福裕真奈恵一慎昌力正尚孔	※菊下橋田方村麻孝亜大真陽千ク美千磯三知吉道敦明希育子	※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※天野笑美子様	※橋内頭成崎口本美好薫光鶴福裕真奈恵一慎昌力正尚孔	※大橋田方村麻孝亜大真陽千ク美千磯三知吉道敦明希育子	※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※中西里鉄兼佳和子様	※兵光峰野口本美好薫光鶴福裕真奈恵一慎昌力正尚孔	※細二磯渡林古藤伊迫高佐澤岑下川平加佐飯菊三	※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※山口鉄兼佳和子様	※光峰野口本美好薫光鶴福裕真奈恵一慎昌力正尚孔	※二磯渡林古藤伊迫高佐澤岑下川平加佐飯菊三	※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※蜂須津佳和子様	※野口本美好薫光鶴福裕真奈恵一慎昌力正尚孔	※磯渡林古藤伊迫高佐澤岑下川平加佐飯菊三	※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※中津山和子様	※本美好薫光鶴福裕真奈恵一慎昌力正尚孔	※林古藤伊迫高佐澤岑下川平加佐飯菊三	※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※岩野三枝子様	※宮原好薫光鶴福裕真奈恵一慎昌力正尚孔	※古藤伊迫高佐澤岑下川平加佐飯菊三	※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※藤友照美鈴繁美子様	※須田光鶴福裕真奈恵一慎昌力正尚孔	※伊迫高佐澤岑下川平加佐飯菊三	※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※影山照美鈴繁美子様	※長霞千鶴福裕真奈恵一慎昌力正尚孔	※迫高佐澤岑下川平加佐飯菊三	※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※関野美鈴繁美子様	※田中山福裕真奈恵一慎昌力正尚孔	※高佐澤岑下川平加佐飯菊三	※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※石原明美子様	※横部裕真奈恵一慎昌力正尚孔	※佐澤岑下川平加佐飯菊三	※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※東村広子様	※服智真奈恵一慎昌力正尚孔	※澤岑下川平加佐飯菊三	※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※舛田入美子様	※川口千恵一慎昌力正尚孔	※岑下川平加佐飯菊三	※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※荒井耕美子様	※奥寺山慎昌力正尚孔	※下川平加佐飯菊三	※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※むぎの会宮本嘉代子様	※青柴葛柏水林小	※川平加佐飯菊三	※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※鈴木悠正利美帆義幸子様	※柴葛柏水林小	※加佐飯菊三	※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※加藤正利美帆義幸子様	※葛柏水林小	※飯菊三	※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※佐藤利美帆義幸子様	※水林小	※菊三	※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※佐藤美帆義幸子様	※林小	※三	※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※堀光幸子様	※小		※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※洲鎌幸子様			※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※丹藤左知子様			※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子
※大村俊郎様			※山田本浦橋高牧村々千和代治子佳子子史廣子子紀子

輸送募金個人合計 ￥362,700

《輸送募金団体明細表》

2009年8月1日～2010年1月31日

〈団体名〉

※北陸電力労働組合七尾分会様
 ※中国郵便輸送支部広島分会様
 ※J R 総連様
 ※北陸電力労働組合様
 ※連合山梨様
 ※北陸電労加南分会様
 ※J P 労組港支部芝分会様
 ※キリンビール労働組合様
 ※東京電力労働組合信濃川総支部様
 ※三菱地所(株)CSR推進部様
 ※富士通システムソリューションズ労働組合様
 ※北陸電力労働組合石川中央分会様
 ※日本郵政グループ労働組合前橋支部様
 ※北陸電労志賀原子力分会様
 ※全ブリマハム労働組合様
 ※三菱重工労働組合様
 ※J P 労組徳島東支部様
 ※北陸電力手取分会様
 ※北陸電力労働組合七尾大田火力分会様
 ※日放労系列様
 ※豊島区職員労働組合(ネットワーク豊島)様
 ※J P 労組埼玉西様
 ※J P 労組東京郵便輸送支部様
 ※全森永労働組合様
 ※リケン労働組合女性委員会様
 ※J P 労組紀央支部様

※東北電労会津若松支部青年部様
 ※あおみ建設労働組合様
 ※日清オイリオグループ労働組合様
 ※セントラル硝子労働組合様
 ※全ブリマハム労働組合様
 ※原電総連様
 ※東電労組埼玉総支部様
 ※三八五労働組合様
 ※グリコ栄養食品労働組合様
 ※中部プラントサービス労働組合碧南支部様
 ※大末建設労働組合様
 ※全日本海員組合様
 ※コーセー総合労働組合様
 ※コーセー総合労働組合様
 ※山形カシオ労働組合様
 ※神交運北斗タクシー支部様
 ※日鉄環境エンジニアリング労働組合様
 ※国公総連関東東京様
 ※J A M 北関東様
 ※共和ダイカスト労働組合様
 ※オリエント労働組合様
 ※東京鋼鉄労働組合様
 ※全矢崎労働組合様
 ※U I ゼンセン同盟様
 ※三菱自動車工業労組様

輸送募金団体合計 ￥4,520,113

輸送募金個人・団体合計 ￥4,882,813

《学校建設募金明細表》

2009年8月1日～2010年1月31日

〈個人名〉

※窪田哲夫様
 ※徳田朝彦様
 ※高石哲夫様
 ※黒川かず江様
 ※矢田凡久様
 ※鴨脚久子様
 ※山根隆治様
 ※齋藤幾子様
 ※山口鉄二様
 ※岩山和子様
 ※舛田広子様
 ※長藤光弘様
 ※齋藤由美子様
 ※西山玲子様
 ※鶴田悟様
 ※渡辺麻実子様
 ※柿木健一郎様
 ※間宮悠紀雄様
 ※野田ひろ子様
 ※田村邦夫様
 ※原照雄様
 ※関口治様
 ※川原崎明子様
 ※多田とよ子様
 ※関口治様
 ※新岡ヴィライ様
 ※河瀬義則様
 ※内田進午様
 ※佃紀子様

〈団体名〉

※北海道中央バス労組様
 ※同盟事務局OB有志様
 ※神交運辻堂交通支部様
 ※頭城ハイヤー労組様
 ※大末建設労働組合様
 ※三八五労働組合様
 ※神交運北斗タクシー支部様
 ※岡山県貨物運送労働組合様
 ※交通労連中国地方総支部青年女性委員会様
 ※全九州産業交通労働組合様
 ※全九州産交運輸労働組合様
 ※9/26総会開催時のカンパ金様

個人学校建設支援募金 ￥108,009

団体学校建設支援募金 ￥122,918

団体・個人 学校建設募金総合計 ￥230,927

《高校生支援募金》

2009年8月1日～2010年1月31日

〈個人名〉

※高石哲夫様
※黒川かず江様
※足立ほうりゅう様
※斎藤幾子様
※影山照雄様
※舩田広子様
※柴慎一様
※中村芳恵様

※間宮悠紀雄様
※船橋光子様
※尾高由鶴子様
※原照雄様
※一木香告樹様
※多田とよ子様
※佃紀子様

〈団体名〉

※神交運北斗タクシー労組様

個人高校生支援募金 ￥37,700

団体高校生支援募金 ￥1,000

個人・団体高校生支援募金 ￥38,700

CSAホームページ = CSA活動をより身近に

— インターネット・ホームページのご案内 —

CSAにも簡単なホームページがあることをご存知でしょうか。

内容は、① ニュース、② 組織概要、③ 国内外の活動、④ 事務所案内(アクセス)、⑤ CSAレポート、⑥ CSAの歴史、等です。

このCSAレポートもその都度、掲載されています。そのほか救援依頼の募集などのお知らせも掲載します。

ニュースはその都度更新していますが、その他の情報は段階的に改善してゆく予定です。最新情報をご覧になりたい方はぜひ、下記のホームページ・アドレスにアクセスしてください。

このホームページを活用し、もっと活動を紹介し、皆様との距離を縮められればと考えております。



アジア連帯委員会(CSA)

The Commission For The Solidarity With The Asian Underprivileged

HOME

ニュース

組織の概要

国内・海外の活動

事務所のご案内

CSAレポート

連帯の20年(概要)

リンク

予算・決算

会長メッセージ

21・22番目校建設契約	(10.03.16)
CSA寮の卒業生が講演	(10.03.16)
YouTubeでスタディツアー・タイ・チェンマイ訪問が映像紹介	(10.02.24)
会長メッセージを更新しました	(10.02.18)
CSAラオス・タイ訪問団派遣(CSAワーキングスタディツアー)	(10.01.20)
小学校建設21・22番目校の決定	(09.12.17)
ラオス留学生の駒場寮・秋の文化祭に参加 - Komaba World Cultural Festival -	(09.12.11)
埼玉県越谷市から中学生がCSA訪問	(09.11.17)



ホームページ・アドレス: <http://www.ngo-csa.jp>

Eメール・アドレス: info@ngo-csa.jp